

## 第7回香川県がん診療連携協議会議事要旨

- 1 日 時 平成 26 年 7 月 31 日（木） 16:00～18:00
- 2 場 所 香川県社会福祉総合センター7階 特別会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 事

吉野香川大学医学部医事課長（以下、吉野課長という。）から添付資料の説明の後、香川県がん診療連携協議会設置要綱第5条に基づき、本協議会会長の横見瀬香川大学医学部附属病院長（以下、横見瀬議長という。）が議長となり、本協議会の議事を進行することとする旨説明があった。

議事に先立ち、横見瀬議長、及び本協議会委員を代表して久米川香川県医師会長から挨拶があった。

横見瀬議長から、本日の協議会は、部会長を交えての会議である旨説明があり、了承された。

横見瀬議長から、議事を審議する前に第6回香川県がん診療連携協議会議事要旨について確認していただきたい旨発言があり、原案どおり承認された。

### 【審議事項】

#### (1) 四国こどもとおとなの医療センター参画について

横見瀬議長より、平成24年6月第2期がん対策推進基本計画により、小児がん対策や、相談支援・情報提供の充実を図り、重点的に取り組むべき課題であるとの説明があった。がん診療拠点病院に準じる施設として、四国こどもとおとなの医療センターに当協議会へのご参画をお願いしたい旨説明があった。特段の異議なく「香川県がん診療連携協議会設置要項第3条(5)その他会長が必要と認める者」として承認された。四国こどもとおとなの医療センター血液腫瘍内科岩井艶子（いわいつやこ）先生より挨拶があった。

#### (2) 香川県がん診療連携協議会設置要綱及び申合せ改正について

合田委員より香川県がん診療連携協議会設置要綱及び申合せ改正について、平成26年7月4日付け都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会規約改正に基づく改正である旨説明があった。

第5条の会議の定足数及び代理者の議決権について、寛委員より3分の2以上の出席につ

いて代理出席者を含めるか否か質問があり、合田委員より都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の方針では、代理者の出席は可能であるが議決権はない旨発言があった。横見瀬議長より本協議会の委員数等を考慮して代理者に議決権を認めてよいのではないかとの提案があった。川上委員(香川県立中央病院)、青江部会長(香川県立中央病院)より容認する趣旨の補足説明もあり、審議した結果承認された。よって、本会議の定足数は3分の2以上の出席を条件とし、代理出席者に議決権を認めるものとする。

他の改正については原案のとおり承認された。

### (3) PDCAサイクルの確保について

合田委員より資料と「がん登録部会 Quality Indicator 研究」により、各拠点病院の院内でのPDCAサイクルの確保はもちろんのこと、都道府県でPDCAサイクルを確保する必要があるとの説明があった。本協議会として、5つの拠点病院が協力してQI研究に参加して、その結果を評価して改善策を策定することによってPDCAサイクルを確保したとの提案があった。横見瀬議長より、拠点病院間での協力が重要であるので、2011年症例について既に参加していた県立中央病院、高松赤十字病院、三豊総合病院へ2012年以降の参加可能かどうかの意見を求め、各施設より院内がん登録の担当部署で対応し可能である旨回答があった。2012年症例について、当院医事課長と労災病院へ参加可能であるか確認し、拠点病院で参加し評価していくこととした。寛委員より、PDCAサイクルについては未だ不明な部分が多く、とりあえずの取掛りとして参加することでよいのではないかとの発言があった。

## 【報告事項】

### (1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

合田委員より平成26年7月4日(金)国立がん研究センターにて開催された「第7回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」について資料に基づき特に重点的に取り組むべき下記の点について報告があった。

- 拠点病院指定要件改定に関すること(指定更新日程、緩和ケア研修必須等)
- がん登録等の推進に関する法律について
- 就労支援相談窓口について

横見瀬議長より、各施設タイムスケジュールに留意し、緩和ケア研修はもれなく受講して頂くよう依頼があった。

寛委員よりがん患者の就労に関する相談への対応及び現状について質問があり、中矢相談支援部会員より通常のがん相談窓口で受け付けており、本院では、就労支援に特化した窓口は設置していない旨の説明があった。他の拠点病院も同様である旨発言があった。横見瀬議長より特化した窓口はなくても就労に関する相談を意識していただきたいとの説明があった。

### (2) 香川県がん診療連携協議会各部会からの報告

#### ① 地域連携・パス部会からの報告

青江部会長より報告があった。

- この一年の成果
- パス運用の実績
- 今後の課題問題点
- 今年度の予定(市民公開講座、地域の療養情報改訂、等)

久米川委員より地域連携パスの施設同士の1対1の締結でなく、包括的な多施設対多施設との締結で対応できるように厚生支局に交渉すれば、保険請求上のネックも解消できるのではないかとの意見があった。

寛委員より今年度の予定として、地域連携パスの活用率が低迷している理由等の意識調査を医師対象に実施し、活性化するための方策を検討するべきであるとの提案があった。青江部会長より是非計画に入れる旨回答があった。

#### ② 院内がん登録部会からの報告

合田部会長より実務者会議、院内がん登録件数等の報告があった。

#### ③ 相談支援部会からの報告

吉澤部会長が6月30日付で高松赤十字病院を退職のため池田部会長代理（高松赤十字病院）から挨拶があった。下記の点について中矢部会員より報告があった。

- 25年度実績
- 広報リーフレット「つながるねっと」、イベント
- 患者会ネットワーク
- 相談員指導者研修受講、香川県相談員研修・交流会実施
- 就労支援への取組

合田委員より、研修・交流会は全国的に先駆的な企画なので今後も引き続き活動をお願いしたい旨発言があった。寛委員より就労支援についても進めてもらいたい旨発言があった。

#### ④ 緩和医療部会からの報告

細川部会長(三豊総合病院)より下記の点について報告があった。

- 緩和ケア研修会、緩和ケアに関するセミナー
- 緩和ケア地域連携パス作成
- 緩和ケア病床報告
- 看護師向け研修

川上委員より、緩和ケアの苦痛のスクリーニングについて県単位での取組についての進捗状況について質問があった。細川部会長より具体的にはまだ何も進んでいないが、何らかの具体的な方策を検討するべきであると考えている、との回答があった。合田委員より、まず

スクリーニングシート作成からとの発言があった。

⑤ 研修・教育部会からの報告

寛部会長よりがんプロ、研修会開催等について報告があった。

⑥ 情報・広報部会からの報告

合田部会長より、25年度取組みについての報告、新たに部会申し合わせ改正により PDCA サイクルが加わった旨発言があった。

⑦ 臨床研究部会からの報告

寛委員より平成 26 年 7 月 8 日に開催された都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会臨床研究部会について報告があった。今後、拠点病院で臨床研究を推進していく上で、CRC の増員は必要不可欠であり、拠点病院補助金として予算化される方向であるとの説明があった。

(3)香川県より

香川県健康福祉部健康福祉総務課木村課長より、第二次香川県がん対策推進計画アクションプランの策定と計画の進行管理について、及び平成 26 年 6 月 6 日香川県がん対策推進協議会の報告があった。

【その他】

「がん拠点病院における口腔ケア」について香川県立中央病院消化器・一般外科大橋龍一郎先生より説明があった。静岡県にて歯科クリニックとの病診連携が始まり、全国に広まり、平成 25 年第 1 回がん診療医科歯科連携推進協議会開催、香川県の委託事業として県立中央病院と香川県医師会が協定締結、今後は各がん拠点病院との連携、講習会開催予定である、との協力要請があった。